

# 環境破壊、「汚水垂れ流し」の事態を告発

## 行政が立ち入り調査を実施

本年7月、由々しき事態が発生した。環境を汚染する「生コン汚水の垂れ流し」の事実が発覚したのだ。事件の当事者は、大阪広域生コンクリート協同組合ならびに神戸生コンクリート協同組合、そして大阪兵庫生コンクリート工業組合に加入している「株式会社関西宇部」である。

この関西宇部社は、昨年にも生コン汚水を海洋投棄して関係者らが書類送検される事件を起こしている。

このように協組や工組に加入し、○適マークをも取得している優良であるべきはずの企業が、生コン汚水を繰り返し不法に投棄していた事実は、関西の生コン業界の社会的信頼を大きく揺るがす結果となった。

07年3月、朝日新聞で関西宇部社・堺工場（当時の社名はシンワ生コン）が約2年半の間、生コン汚水（高アルカリ性）100トン以上を海上に不法投棄し、廃棄物処理法違反に問われる事件が報道された（詳細は裏面参照）。

このようなことがないと誓ったはずだが、またもや生コン汚水のたれ流しが発覚。伊丹工場で生コン残渣が混ざった汚水と生コン汚水を下水に垂れ流していたのだ。



（株）関西宇部・伊丹工場

関西宇部社は、コンプライアンスの徹底をはかり二度とこのようなことがないと誓ったはずだが、またもや生コン汚水のたれ流しが発覚。伊丹工場で生コン残渣が混ざった汚水と生コン汚水を下水に垂れ流していたのだ。

関西宇部社の伊丹工場（兵庫県伊丹市西野）では、工場内に、ミキサー車や生コンプラントの洗浄時や余った生コンの処分時に発生するセメントの粒子が混ざった汚水を脱水し固めた廃棄物とスラッジケーキを野積みしている。しかし、その設備と管理があまりにもズサンであった。工場内の出入り口付近にあるスラッジケーキを野積みしている場所からは、あきらかにスラッジの形跡があり、工場外の一般道路の下水溝にグレーチングに生コン汚水が流れ込んでいた。



▲ 上) 工場敷地外と隣接している場所にスラッジケーキを野積みしている状況  
下) 生コン汚水の流れ込んだ形跡が残っている下水の側溝＝グレーチング

このグレーチングの廻りの汚水跡をみても、かなりの年数放置されていたのではないかと容易に推測できる。そのようなことから、8月18日、連帯ユニオンは兵庫県伊丹市環境保全課に現状の実態を報告。関西宇部社に対し、行政指導するよう申告した。さらに8月20日、大阪兵庫生コン経営者会に報告した。それに対し経営者会は、事態を重くみて大阪広域生コンクリート協同組合ならびに大阪兵庫生コンクリート工業組合に報告すると回答。9月29日には、関連5労組と広域協、工組、経営者会の三者が品質委員会で協議されることになった。

また、関西宇部社は、8月26日、伊丹市環境保全課の立ち入り調査を受け、無責任にも「気がついていたら、改善しようと思っていた」などと回答したという。今回、関西宇部社の度重なる生コン汚水の不法投棄が発覚したことによって、生コン業界の社会的信頼が大きく揺るがす事態となった。私たち連帯ユニオンは、今後も生コン業界におけるコンプライアンス確立を求める運動を継続し、社会的な信頼を得られる生コン業界へと再建して行く決意です。

連帯ユニオン関西地区生コン支部 大阪市西区川口2-4-28 TEL.06(6583)5546

# 法令遵守を求めるニュース

2008年  
9月第1号

# 衝撃! 2年間で100tもの汚水を不法に海洋投棄

## 海上保安庁が、(株)シンワ生コン (現、(株)関西宇部) を摘発



▲ 関西宇部堺工場の不当投棄の状況（上、中  
関西宇部のミキサ車が汚水を撒き散らしている状況（下）

07年3月、『朝日新聞』が「生コン汚水海に投棄」との見出しで、シンワ生コン（現、(株)関西宇部）が約2年半にわたって高アルカリ性の生コン汚水を海洋上に投棄していたことを報道した。生コン汚水は強アルカリであると同時に、微量ではあるが六価クロムなど重金属を含んでいる。そのような生コン汚水は汚染物質の垂れ流しは、市民の安心・安全を大きく脅かしかねない。そして、それ以外にも(株)関西宇部のミキサ車が一般道路上に生コン汚水をばら撒いていたこと。関西宇部の伊丹工場が一般道路の下水口に汚水を垂れ流していたことが発覚している。そのようなことから(株)関西宇部は、環境意識はもとよりコンプライアンス意識が欠けている企業であると言わざるを得ない。

### 繰り返し行われた「不法投棄」の実態

新聞報道（07年3月8日付『朝日新聞』大阪地方版）によると、堺市のシンワ生コン（現、(株)関西宇部）堺工場が、約2年半にわたり、100トン以上の生コン汚水を海に捨て、堺海上保安署が工場関係者らを廃棄物処理法違反（廃棄物の投棄禁止）の

容疑で書類送検した模様。

また、昨年の5月～7月にかけて、大阪府警察本部第二期工事（竹中工務店JV）、高島屋新築工事（銭高組）、淀屋橋地区第一種市街地再開発事業・B棟（大林組JV）などの大阪市内の建設工事において、(株)関西宇部のミキサ車が建設現場から工場に向け走行中、生コン汚水を一般道路上にばらまいていたとして、大阪市環境局事業部から行政指導を受け

ている。そして、今年の7月には、(株)関西宇部伊丹工場が、工場入り口付近の一般道路の下水口に生コン汚水を垂れ流していたことが発覚。8月26日に伊丹市環境保全課の立ち入り調査を受ける事態へと発展した。(株)関西宇部は、宇部興産(株)の連結子会社であり、大阪広域生コンクリート協同組合ならびに大阪兵庫生コンクリート工業組合に加入。○適マ ookをも取得している企業であり、本来であれば、環境意識やコンプラ

イアンス意識をしっかりと持った優良であるべきはずの企業が、幾多も行政指導にもかかわらず、企業としての社会責任を放棄し、「汚水の垂れ流し」を繰り返して行ってきた。その結果、協同組合や工業組合のみならず、生コン業界の社会的信頼を著しくおとしめられることとなった。私たち連帯ユニオンは、今後も生コン業界で「汚水の垂れ流し」事件など業界信頼を揺るがすコンプライアンス違反を撲滅していく決意です。